

・6月1日、Aさんの相談支援専門員より事業所に「Aさんのモニタリングに行ったが、しばらく通所はお休みされていると伺った。事業所で何かあったのか？」との連絡が入った。連絡を受けたサービス管理責任者はAさん宅に連絡をした。すると父親は、時々通所を渋ることはあったが、何とかなだめて送り出していた。しかし、5月23日に帰宅してからは、「B子さんイヤ！ 行きたくない！！」の一点張りなので、休ませている。嫌なことでもあったのかと心配しているが、お世話になっているので言い出せなかった」と申し訳なさそうに答えた。サービス管理責任者は、事業所での出来事を確認して再度連絡を入れることを伝え、一旦電話を切った。

・サービス管理責任者は管理者に報告。B子さんに状況を伝えると、時々Aさんが入浴を促しても動かないことがあるため、やや強引にでも入浴を済ませることがあったという。5月23日は、入浴者が多く、特に焦っていたと。

【聞き取りからの状況】

- ・Aさん…「B子さん怒るのイヤ！！」
- ・B子さん…「とにかくお風呂に入ってもらおうとしただけです。やり方はちょっと強引だったかもしれないけど…」
「お風呂に入れてあげることが悪いことなのですか？」
- ・C美さん…「時々動かなくなってしまうことはあったけど、いつもはご機嫌に入浴されていました」
「入浴自体は嫌いではないと思うのですが…」
- ・他の利用者の方…「B子さんね、言う事聞けないならご飯食べなくていいって言って、Aちゃん泣いちゃったの」